



資料提供	
平成20年3月14日	
提供(担当者)	地方独立行政法人 鳥取県産業技術センター - 応用生物科 (野口のぐち、有福ありふく)
電話	0859-44-6121

韓国からの研修生の受入について

鳥取県産業技術センター食品開発研究所(所長 秋田幸一 アキタ コウイチ)では、韓国江原道の(財)江陵科学産業振興院から技術研修のための研究員を受け入れます。(財)江陵科学産業振興院からの要請に基づくもので、食品成分の機能性評価技術の習得を目的にしています。

- 1 期間 3月17日～8月15日(予定): 5ヶ月間
- 2 場所 地方独立行政法人鳥取県産業技術センター
食品開発研究所
(境港市中野町 2032 番地 3 電話 0859-44-6121)
- 3 研修生 崔 允瑞(チェ・ユンソ Yoonseo Choi)
男性 1982年生(25歳)
(財)江陵科学産業振興院の海洋バイオ産業支援事業派遣研修生
- 4 研修内容 食品成分の機能性評価技術の習得

5 経緯

平成19年11月4日～11日に鳥取県は北東アジア産業技術交流に係る韓国江原道への訪問調査(団長 商工労働部産業開発課参事 中林圭一)を実施した(産業技術センターからは4名の職員が参加)。その際の訪問先である(財)江陵科学産業振興院からの要請によるもの。

江陵科学産業振興院では、海洋バイオに関する研究開発を進めており、鳥取県産業技術センター食品開発研究所の機能性食品開発に関する研究に興味を示した。

特に、食品成分の機能性評価技術に関する技術について、若い研究員を派遣して研修させたいとの要請があり、本年1月28日に食品開発研究所に事務担当者が来訪し、研修期間などについて事前協議を行った。

6 参考: 江陵科学産業振興院の概要

- ・ (財)江陵科学産業振興院は江陵科学産業団地に立地し理事長は江陵市長。
- ・ 組織は、院長、R & D革新支援センター、海洋バイオ産業化支援センター、情報・文化産業化支援センター、経営支援室が設置されている。
- ・ 環東海(日本海)圏のR & B Dのメッカを目指している。
- ・ 事業目標として、産・学・研・官の協力体制の構築による科学研究団地の育成及び海洋バイオ産業、情報・文化産業、セラミック産業の育成をあげている。